

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.30

2010.3.5



福まち通信

菊水福祉のまち推進センター運営委員会

札幌市白石区菊水6条4丁目3-10

電話 011-887-7006 FAX011-887-7006

URL <http://kikusui-net.jp>

北の動物園



第61回さっぽろ雪まつり閉幕

2月5日から11日までの一週間、大通・つどーむ・ススキノ会場で雪まつりが行われ、過去最高の243万3000人の参加で盛会裏に閉幕しました。雪まつりは、昭和25年に市内の中・高校生が六つの雪像を大通公園に作ったことから始まりました。その5年後、自衛隊の参加により一挙に規模が拡大し、テレビや新聞で全国に紹介されると、本州からの観光客が増えて大盛況となりました。こうして札幌の雪まつりは日本いや世界の雪まつりへと発展していったのです。菊水地区の福祉のまちづくりも、今は基礎づくりの段階ですが、地域の人々の願いや行動が重なり合えば、立派な福祉のまちに育って行くことでしょう。



子供たちを
乗せて走る
ミニ蒸気機
関車

地下鉄駅そばに保育園分園誕生

すずらん保育園(菊水4条1丁目)では、今年の4月から分園を開設することになりました。利用対象児童はゼロ歳児と1歳児で定員は20名です。

開設される場所は、地下鉄東西線菊水駅5番出口の隣のメモリアル札幌ビル2階(右の写真)で、送り迎えには非常に便利なところ。近くにはやよい公園もあり、本園とは240mの距離にあります。広い保育室が設けられる予定になっていて、保育条件は恵まれています。

札幌市内では、お子さんを保育所に預けて働きたい母親が増えており、昨年4月時点でゼロ歳児と1歳児の待機児童数は

159人で5年前のほぼ倍になっています。こうした現状を改善するため、札幌

市は乳児の保育を希望する母親の願いと、施設の定員を増やしたいが新たに施設拡充することが困難な施設との、両方の需要にこたえるために分園の設置を認め、施設整備費の4分の3を補助する補助事業を新設しました。

この動きにいち早く対応したすずらん保育園(電話 811-5714)では、前述のように4月からの開園準備に取り掛かっています。

利用希望の方は下記にお申し込みください。不明な点は下記もしくはすずらん保育園にお問い合わせください。

白石保健センター(白石区役所北隣)

健康・子ども課 子ども家庭福祉係 電話 861-0336



すずらん保育園の
園長先生と年長組の
おともだち



ハートの家伍番館ミニ・コンサート

ハートの家伍番館では、2月14日(日)午後1時半から同施設の1階デイサービスホールでバレンタイン記念コンサートを開催しました。この施設は、社会福祉法人パートナーが運営しており、認知症状態で介護が必要とされる18名の方が、介護士などのサポートを受けながら共同生活を送っています。

会場には、グループホーム利用者の方18名と、姉妹施設のハートの家三番館からのお客様8名、それと利用者のご家族の方や地域から参加した谷内山上町連合町内会副会長などがコンサートの開始を待っています。学生ボランティア3名、地域ボランティア3名と

よつクロ編集委員それに施設職員を合わせると40名近い参加者になりました。





演奏者は「ロケット姉妹」という一寸変わった名前のお二人です。アコーディオンの弾き語りで優しくきれいな歌声を聴かせてくれる「タテヤマユキ」と、ギターや尺八に似た民族楽器の演奏をする「扇柳トール」さんのデュエットで、大正から昭和初期ころの歌謡曲が演奏されました。

「蘇州夜曲」が演奏されるとグループホーム利用者の方たちから歌声が漏れてきます。「♪君がみ胸に抱かれて聞くは…」青春時代に歌った懐かしい曲ですので、過去へいっぺんにワープしてしまったのでしょうか。「山形地方の

子守唄」や「ソーラン節」の女性バージョンなど、次々と繰り広げられる美しい日本の歌に参加者は酔いしれていました。最後にもう一度「蘇州夜曲」を全員で歌って、楽しい時間を終えました。

除雪ボランティア

介護予防センターが主催する「除雪ボランティア事業」は、今年も行われました。

今年で6回目となるこの事業は、学生ボランティアを主力とし、一般ボランティアを加えた形で行われてきました。ことは、1月30日と2月20日の2回実施されました。除雪対象世帯は民生委員さんの紹介があった4世帯で、いずれも一人暮らしの高齢者世帯でした。除雪事業参加者は二日間で延べ37名でした。



1月30日のみなさん



一生懸命に除雪を終え感謝されました



2月20日のみなさん

(参考)
この除雪事業は札幌市や札幌市社会福祉協議会の行っている「福祉除雪」とは別の独自事業です。



福まち研修会開催



開催の挨拶をする細野
福まち運営委員長

2月26日(金)午後1時から菊水会館2階会議室において「福まち研修会」が開かれました。この研修会は、今年1月に南連合町内会で実施した「救急医療情報キット」配布事業の体験発表会として行われたもので、それに関わった7名の民生児童委員さんが発表しました。



発表する菱田
民児協幹事長

民生児童委員、福まち役員、町内会長、白石区社協、第2包括支援センター、介護支援センター菊水などの関係者約60名が出席しました。



南連合町内会では、地域の民生児童委員さんの協力を得て、65歳以上独居高齢者名簿の作成を行い、今年1月にはキットの配布を終えました。

その結果は右の表に示されているように、キットの配布対象者である65歳以上の独居高齢者と障がい者合計194名の方のうち、長期入院やその他の理由による不在者などを除い

菊水南連合町内会 救急医療情報キット配布状況調べ

(町内会名)	当該条丁目	65歳以上 独居数	障 害 者 数	合 計	配布数	未 配 布 状 況				病弱等で 配布希望者	合 計	
						長期入院	不 在	拒 否	既 配			
(菊水1条3丁目町内会)	菊水1条3丁目	20	0	20	19	0	1	0	0	20	0	20
(菊水2・3条3丁目町内会)	菊水2条3丁目	14	0	14	10	0	3	1	0	14	0	14
	菊水3条3丁目	24	0	24	21	1	2	0	0	24	0	24
(菊水4・5条3丁目町内会)	菊水4条3丁目	13	0	13	12	0	1	0	0	13	0	13
	菊水5条3丁目	26	0	26	25	1	0	0	0	26	0	26
(菊水3条4丁目町内会)	菊水3条4丁目	30	6	36	35	0	0	0	1	36	0	36
(菊水1条4丁目町内会)	菊水1条4丁目	35	0	35	32	1	0	2	0	35	3	38
(菊水3条5丁目町内会)	菊水3条5丁目	26	0	26	19	0	7	0	0	26	0	26
合 計		188	6	194	173	3	14	3	1	194	3	197

(平成22年2月16日現在調べ)

編集委員の交代

今年の2月から、南地区の菱田編集委員に代わって山内勝氏が就任しましたのでお知らせします。



山内さんは4条5条3丁目町内会の副会長で、この地区の民生児童委員としても活躍している方です。

以前には、園芸・造園業白石園の専務取締役として働いておられた方ですので、地域の事情に精通されておられ、今後の活躍に期待が寄せられています。

よつクロ編集委員名

東地区編集委員	関口 和彦
西地区編集委員	枝元 政肇
南地区編集委員	山内 勝
北地区編集委員	折原 政幸
上町地区編集委員	谷内山与惣吉

た173名の方にキットが配られました。単位町内会あたり配布数は約30件になります。

民生委員さんや町内会役員がキットの配布を行いました。冷蔵庫がないとかその他の理由で受け取りを拒否された3人の方を除いて、みなさんは「有難いことです。これで安心できます。」と大変感謝されておられたそうです。

なお、この事業は南連合町内会のほか、西連合町内会の単位町内会である「菊水2条1丁目町内会」でも行われました。

編集後記 三寒四温、春めいた日差しの今日この頃です。人の心もそれに合わせて温かくなっていくようです。キットの配布をきっかけに見守り活動の輪が広がっていくことを願っています。(枝元編集員)